



## グローバル人材を育成する「新渡戸カレッジ」を創設

### 概要：

北海道大学は、基本理念である「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」及び「実学の重視」の精神を基に、全 12 学部の学生（入学定員約 2500 人）の中から選抜された 200 名を「国際社会の中で日本人としての自覚を持って生き抜くリーダー」として育成するとともに、教育課程の体系化・国際通用性の向上、教員のグローバル教育力の向上、事務体制の国際対応能力の向上等北海道大学全体の国際化を進展させることを目的とした①特別教育プログラムであり、②人材育成ネットワーク形成プログラムである「新渡戸カレッジ」を創設します。

### カレッジ創設に至った経緯：

グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図るため、学内にタスクフォース（座長：本堂武夫 理事・副学長、国際本部長）を設置して検討。グローバル化を推進する取組を実施する大学を支援する、文部科学省の平成 24 年度新規事業「グローバル人材育成推進事業」に採択。

### カレッジの内容・対象：

組織：全学部生を対象とする特別プログラム。定員は 1 学年 200 人。所属は各学部

選抜方法：入試合格者の中から希望者を募り、語学能力で選抜

海外留学：原則として 1 セメスター～1 年の海外留学を義務付け（部局により短期留学も含む）

成績評価：語学能力（TOEFL-iBT 等）及び修了要件を定めるとともに、到達度による称号を付与

修了証書：一定の履修要件を満たした学部生に修了証書（Certificate）を授与

達成目標：平成 28 年度に TOEFL-iBT80 点相当到達又は単位取得を伴う海外留学経験者が学部卒業者の 2 割

開始時期：平成 25 年度（語学教育は平成 24 年度から一部試行実施）

### お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学国際本部・副本部長 川野辺 創

TEL: 011-706-8003 FAX :011-706-8037 E-mail: s.kawanobe@oia.hokudai.ac.jp



**HOKKAIDO**  
UNIVERSITY

グローバル人材を育成する  
新渡戸カレッジの創設

北海道大学 総長  
佐伯 浩

## 新渡戸稲造の精神

- 深い倫理性に基づいた品位ある自律的な個人の育成
- 日本人としての自覚を持ちつつ、偏狭な排外主義に陥らない「国際精神の涵養」
- 互いに国籍の区別を設けなくて親しく交わる「国際的教育の組織」

(出典：『武士道』、『東西相触れて』、『修養』)

# 北海道大学のグローバル化に向けた教育システム改革

## 新渡戸カレッジ

### 日本人学生の派遣

一学年2,560名の学生から200名を選抜し、「**国際社会の中で日本人としての自覚をもって生き抜くリーダー**」を養成する特別教育プログラム

## 現代日本学プログラム

### 外国人留学生の受入れ

外国人留学生を対象とした**新たな学士プログラム**。基礎、教養科目は英語で実施。重点的な日本語教育。日本を理解し、日本社会・国際社会で活躍する人材を養成する特別教育プログラム。

## バイリンガルキャンパス構想

教員のグローバル教育力向上

教育課程の体系化、国際通用性の向上

事務体制の国際対応能力向上

## 北大の特色を生かしたプログラム

- 総合大学12学部の学生がともに学ぶカレッジ
- 多様な国々(87カ国・地域)の学生との切磋琢磨
- 卒業生と在校生との社会的ネットワーク
- 北海道のフィールドを活かした学修環境

## 育成する能力とカリキュラム

### グローバルなコミュニケーションツールとしての英語力の育成 →

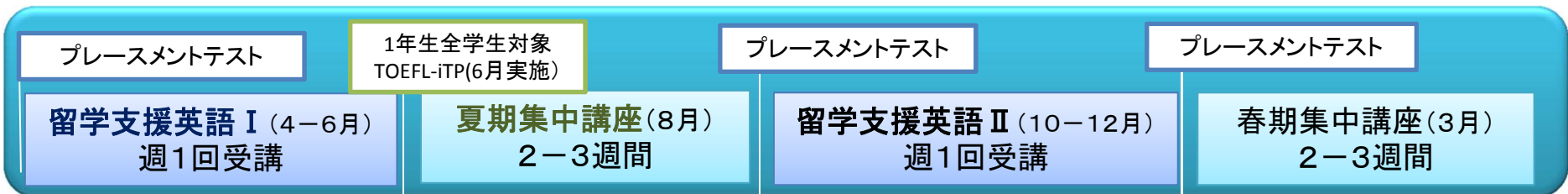
#### ①原則1 Semester以上の海外留学の義務付け

- 協定校等への留学
- 複数の短期派遣の組み合わせ

#### ②「留学支援英語」の履修義務付け

ネイティブ教師による少人数実践英語クラスの開設

| 授業科目                   | 単位数         |
|------------------------|-------------|
| 留学支援英語                 | 4単位         |
| 国際交流科目等、英語による専門科目      | 2単位         |
| フィールド型演習               | 2単位         |
| 多文化交流科目等、異文化理解促進科目     | 2単位         |
| 日本文化・社会に関する理解増進科目      | 2単位         |
| ボランティア、インターンシップ等の実社会経験 | 2単位         |
| 海外留学                   | 1単位以上       |
| <b>合計</b>              | <b>15単位</b> |



#### ③「英語による授業」履修の義務付け

「国際交流科目」(英語で提供される授業)の大幅拡大

チームワーク力、リーダーシップ力の育成



④「フィールド型演習」の受講義務付け

練習船「おしよろ丸」の乗船訓練、農場での体験学習、演習林での環境学習、流水観測等



<「おしよろ丸」での甲板掃除>  
命がけの厳しい規律が人を創る



<綿密に計画された牛馬の世話の間の平和な風景>  
日高の牧場で肉体も精神も鍛えられる



<厳寒期の演習林を1日かけスキーで廻る環境学習>  
グループの統制なしでは、起伏の大きな山から無事に帰ることはできない

多文化状況の中での課題解決力の育成



⑤「留学生との制度的交流」の義務付け

「多文化交流科目」群の開設;留学生と日本人学生がともに学ぶ課題解決型授業

世界の中での日本人としての自覚の育成



⑥日本文化・社会への理解の促進

日本語イブニングコースへのカレッジ生の参加

実践にあたっては日本語教授法ワークショップの国際的ネットワークを活用

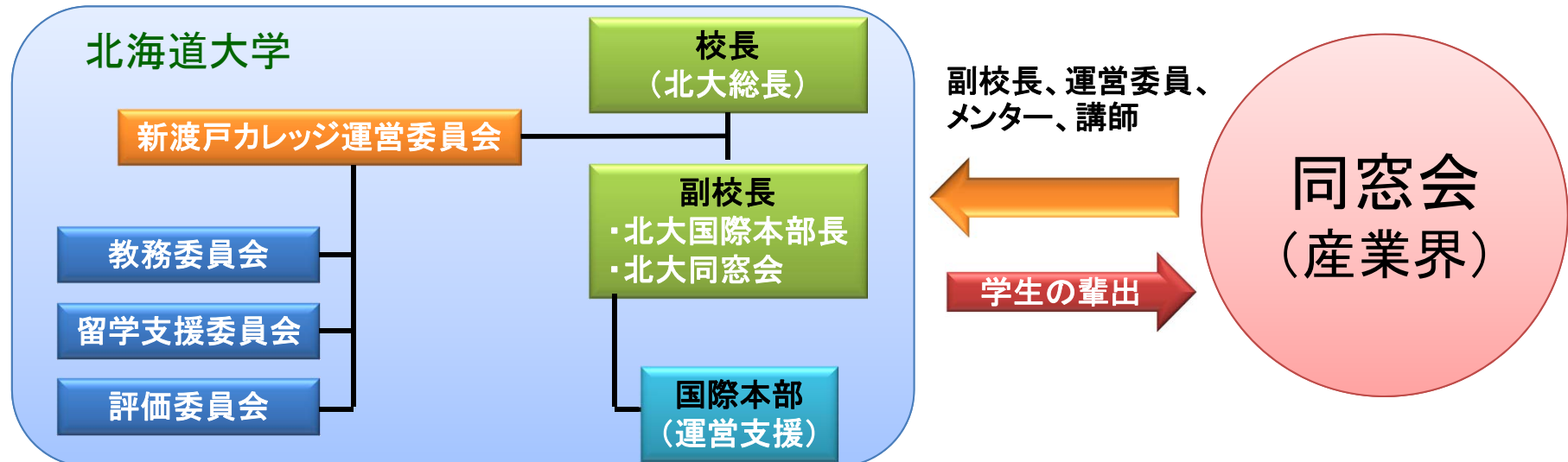
先輩社会人の中で組織的・制度的なコミュニケーションの場を形成し、  
カレッジ生のキャリアデザイン力を磨く

## 同窓会との連携によるカレッジ運営

- カレッジ校長は本学総長であり、2人の副校長は国際本部長及び**本学同窓会幹部**が就く。
- 20人の少人数クラス毎に学内担任(教員)の他、**メンター**を置き、社会で活躍する本学同窓生をもって充てる。日常的な交流の場として**SNS**を活用する。
- 学外のメンターを含めた「新渡戸カレッジ運営委員会」(仮称)を設置し、カレッジの運営、カレッジ生の指導と成績評価について、検証し改善する。

## 同窓会を橋渡しとする産業界との連携強化

国内外のインターンシップ、産業界からの講師派遣を同窓会と緊密な連携のもとに拡充



## 1 参加時における質保証

カレッジ生の質を確保するため、新渡戸カレッジではTOEFL-iBT61点（TOEFL-ITP500点）以上の学生から選抜。

## 2 卒業時における質保証

修了にあたっては以下の要件を課すとともに、「通算GPAを含む」達成要件によって異なった称号を付与。要件達成時に称号授与。

修了生は、語学力・留学経験だけではなく、**学士課程教育全体の成績も含めて質の高い学生であることを社会に担保。**

| 称号          | 修了要件   |
|-------------|--|
| 新渡戸<br>マスター | <ul style="list-style-type: none"> <li>・所要の単位の取得</li> <li>・交換留学の終了（複数の海外研修等を交換留学に代替することも可）</li> <li>・所属学科等における<b>通算GPAが上位15%以内</b>であること</li> <li>・カレッジ修了時の語学力が、<b>TOEFL-iBT100点</b>（あるいは相当する指標）</li> </ul>   |
| 新渡戸<br>シニア  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・所要の単位の取得</li> <li>・交換留学の終了（複数の海外研修等を交換留学に代替することも可）</li> <li>・所属学科等における<b>通算GPAが上位30%以内</b>であること。</li> <li>・カレッジ修了時の語学力が、<b>TOEFL-iBT90点</b>以上（あるいは相当する指標）</li> </ul> |
| 新渡戸<br>ジュニア | <ul style="list-style-type: none"> <li>・修了要件単位の取得</li> <li>・一回以上の海外研修を終了</li> <li>・所属学科等における<b>通算GPAが上位50%以内</b>であること。</li> <li>・カレッジ修了時の英語力が、<b>TOEFL-iBT80点</b>以上（あるいは相当する指標）</li> </ul>                   |



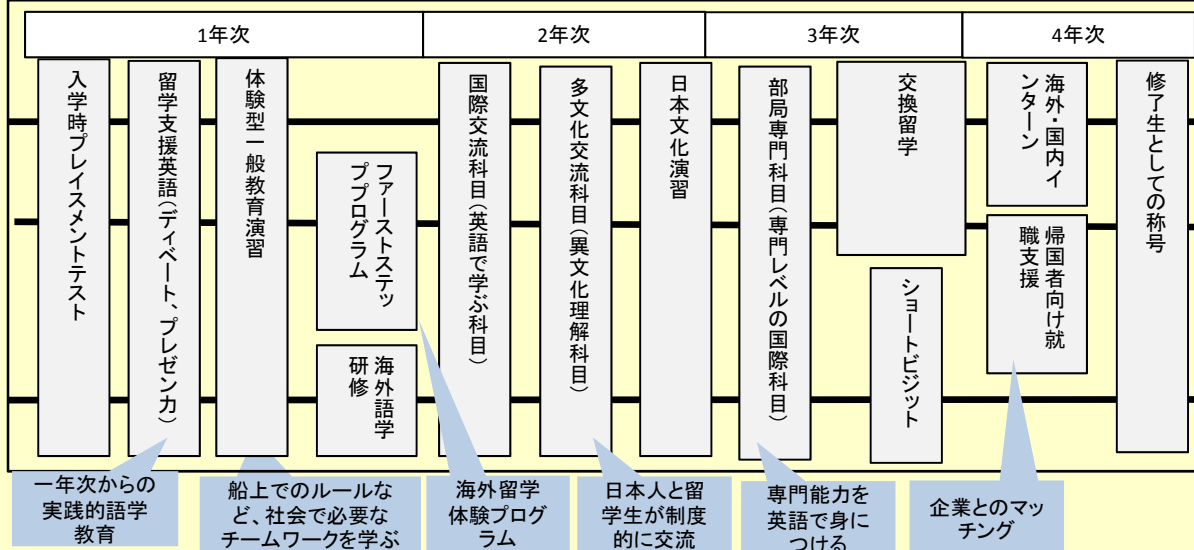
<参考写真>

## 社会・産業界との好循環

優秀な人材を輩出

### グローバル国際拠点：北海道大学新渡戸カレッジ

実践的コミュニケーション能力 → リーダーシップ・チームワーク → 日本人としての自己省察、異文化理解 → 課題解決能力を身につけたグローバルリーダーへ



社会人講師+メンターとして貢献

**新渡戸ネット**  
産業界との連携システム

**新渡戸カリキュラム**  
主体的な学習環境  
質を伴った学修時間を担保するシステム

切磋琢磨する留学生を受け入れ

世界に立ち向かう新渡戸グローバルリーダー

海外で成果を発揮

グローバル企業等

大学院

### バイリンガルキャンパス構想

教員のグローバル教育力向上

教育課程の体系化、国際通用性の向上

事務体制の国際対応能力向上

### 道内他大学との連携

海外大学との双方向交流の推進、  
知の好循環